特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 550 号]　令和 4 年 11 月 24 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16　□電話　048-931-3844

雨の中松尾芭蕉杯に向けて準備/10 名

11 月 23 日(水)、木村、大久保夫妻、並木親子、吉良、間宮、大原、黒田、相原の 10 名が、本来であれば定例活動を行う予定でしたが、雨天のため中止とし、代わりに事務作業を行いました。
主な作業は、ラミネーター2台を使い、選手用の艇番号札を作成することでした。本来1人で行う予定だったものを 10 人で行ったため、短時間で完成させることができました。

事務作業後に救助講習

事務作業終了後に船着場に移動し、越谷パドリングクラブ所属で当会の会員でもある、並木氏による救助講習を行いました。並木氏はライフセーバーとしても活動しており、救助に関する豊富な知識を持つ頼もしい仲間です。

春日部市カヌー協会様より祝い金

準備活動中、春日部市カヌー協会の尾谷英一会長がお越しになり、松尾芭蕉杯カヌー大会の開催お祝い金を頂きました。
春日部市カヌー協会には、松尾芭蕉杯タンデム部門に、選手として出場していただく予定です。今後も大会だけでなく、さまざまな活動の場で協力し、交流を深めてまいります。

埼玉建設新聞「カヌーの船着場検討」記事

草加パドラーズの河川清掃活動の支援として、県土整備部が船着場の新設の検討に入りました。
朗報です。私たちの活動拠点が増えることで、さらに河川美しくなります。
（埼玉建設新聞 2022 年 11 月 18 日付け）

埼玉建設新聞 2

カヌーの船着き場検討

年度内に10河川で候補地

県土整備部

県土整備部は、民間によるカヌーを使った河川の水面清掃活動を支援するため、活動団体側のニーズを踏まえた船着き場や親水護岸を県内河川に新設する検討に入る。10河川から3～5カ所ずつ、計40カ所程度の設置候補地を選び、船着き場や親水護岸の形状、概算工事費などを年度末をめどに整理する。

河川上のごみをカヌーを使って回収する民間主体の環境美化活動が広がっている。一方、カヌーを搬出入したり、集めたごみを仮置きできたりする河川沿いの空間は十分に整備されているとは言えず、県は必要な施設整備を検討することにした。

対象は▽綾瀬川▽伝右川▽元荒川（大相模調節池含む）▽大落古利根川▽芝川▽鴨川▽桁川▽毛長川▽新河岸川▽入間川――の10河川。水面清掃の実績などを持つ県内10団体にヒアリングして、最適な設置箇所、規模、基本構造などについて取りまとめる。

整備イメージの一つに、国土交通省が越谷市蒲生愛宕町内の綾瀬川に整備した蒲生船着き場を上げる。カヌーのスポーツ文化向上に取り組む市民団体、草加パドラーズが水面清掃時の拠点に活用している。

これまでも河川改修に合わせ、親水護岸などは随時設置されてきているが、市民利用が低調な河川空間は実際にある。水面清掃のニーズまで計算して事業着手する発想はさらに珍しい。

構想段階から関係者の意見を丁寧に収集・分析することで、整備完成後の確実な利用、官民連携の維持管理などにつなげる。

八潮中央公園再整備へ

24年度にも設計着手

八潮市

八潮市は、新庁舎建設事業と関連する八潮中央公園（中央1―9）の再整備について、早ければ2024年度にも設計へ着手する。同公園は、建設中の新庁舎と隣接する場所へ立地。今後、新庁舎と一体的に活用できる施設としての再整備を行う見通しだ。新庁舎が完成する23年10月以降、公園側の整備着手時期を調整する見込み。

新庁舎建設に向けて策定した基本計画では、新庁舎と隣接する八潮中央公園・八潮メセナについて、新庁舎と一体的に利用していく方針を盛り込んでいる。

そのうち八潮中央公園

電子契

競争

坂戸市

坂戸市は、競争入札を適用する建設工事など公共調達の契約手続きに「電子契約」を試験導入した。本年度の試験結果を踏まえ、2023年度以降の本格導入を検討す